



第214号 令和2年(2020年)11月20日

# 市議会だより

## 総務委員会



7月17日 桑名市(業務効率化の取り組み)、近鉄鈴鹿線三日市駅周辺【写真】(防犯カメラによる市民生活の安全確保)、8月4日 名張市(効果的な情報発信)

## 文教環境委員会



7月16日 白子中学校、旭が丘小学校(教育ICT)、AGF鈴鹿体育館【写真】(スポーツ振興)、清掃センター(廃棄物処理施設の現状と課題)、10月6日 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿(スポーツ振興)

## 各常任委員会の活動状況

各常任委員会では、本年度の所管事務調査事項について、先進的な取り組みをしている他市への行政視察や、本市の現状と問題点を把握するための現地視察を行っています。視察により得た知見を元に委員会で協議し、意見を取りまとめ、市長に提言を行います。

## ■主な内容

7月臨時議会の概要	2
各委員会での主な議案審査状況	2
議決一覧	4
9月定例議会の概要	5
各委員会での主な議案審査状況	5
議決一覧	9
一般質問	11
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会	15

## 地域福祉委員会



8月3日 まなび一の(ひとり親家庭の支援)、中部包括支援センター、生活支援隊稲生助け愛ネット【写真】(地域包括ケアシステム)、10月14日 竹野の森こども園、サン認定こども園(保育所(園)におけるICT化)

## 産業建設委員会



7月6日 住吉配水池【写真】(水道事業)、7月30日 伝統産業会館(観光産業発展)、松阪市(公園の利活用)、7月31日 磯山市営住宅(市営住宅の入居)、鼓ヶ浦サン・スポーツランド、深谷公園(公園の利活用) ほか

市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のホームページをご覧ください

鈴鹿市議会

検索

<http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>



# 7月臨時議会の概要

## 7月臨時議会を7月29日に開催し 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)など2議案を可決

7月臨時議会を7月29日に開催しました。  
市長から「令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)」など2件の議案が提出され、提案説明の後、提出議案に対する質疑を行い、委員会に付託し、議案の審査を行いました。その後、本会議が再開され、付託議案について各委員長から審査結果の報告がありました。その後、2名の議員が討論を行い、採決の結果、議案2件はいずれも可決しました。最後に、8月25日までを休会とすることを決定し、散会しました。

<b>感染症拡大防止策</b>	<b>17予算事業 9,444万6千円</b>
市管理施設・行政活動での感染症拡大防止	6,290万1千円
外国人市民に向けた感染症拡大防止	374万8千円
遊樂所等での感染症拡大防止	2,779万7千円
<b>生活支援策</b>	<b>5予算事業 3億4,366万5千円</b>
外国人留学生への支援	295万円
障がい者・ひとり親世帯への支援	1億4,189万5千円
ひとり親世帯臨時特別給付金(国による生活支援策)	1億9,882万円
<b>経済対策</b>	<b>3予算事業 1億4,961万8千円</b>
経済対策住宅リフォーム等補助金	1億11万4千円
花き農家への支援	2,610万円
お茶農家への支援	2,210万円
移動式販売飲食業への支援	130万4千円
<b>緊急雇用対策</b>	<b>3予算事業 9,461万5千円</b>
本市の緊急雇用対策	2,261万5千円
私立保育所等の業務負担の軽減	3,200万円
雇用機会の確保	4,000万円

7月臨時議会で可決した新型コロナウイルス感染症対策補正予算

## 各委員会での主な議案審査状況

### 文教環境委員会

#### 議案第68号 財産の取得について

#### 児童生徒1人1台端末環境の実現へ

**(概要)** 文部科学省のGIGAスクール構想に基づく児童生徒1人1台端末環境を実現し、教育ICT環境の充実を図るため、市立小中学校児童生徒用端末1万3,489台を4億9,389万4,339円で取得しようとするもの。

#### 質疑

取得価格は端末のみの価格なのか、付属品なども含めた価格なのか。また、端末の耐用年数、更新(買い替え)費用の見込みはどのように考えているのか。

#### 答弁

取得価格は端末のみの価格。耐用年数は、端末の一般的な耐用年数が5年程度であることから、同様の年数で考えている。現時点では、文部科学省から更新方法は示されておらず、今回の補助金を活用して児童生徒1人1台端末環境の整備を進めることが必要との考えが示されている。



1人1台端末を用いた中学校の授業

## 予算決算委員会

予算の審査は、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

### 総務分科会

議案第67号 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算（第4号）

#### 緊急事態宣言発令時などに活用するサーマルカメラを庁舎に設置

#### ○庁舎等管理費 施設管理委託料 1,067万円

**（概要）** 新型コロナウイルス感染症対策として、市役所本館の北、南、西玄関の防犯カメラを入館者の体温を計測できるサーマルカメラへ交換設置する。また、その他の各階の防犯カメラはシステムの更新が必要なため、一般的なデジタル式のカメラへ交換するための経費を計上するもの。

**質疑** サーマルカメラはどのように運用するのか。

**答弁** 緊急事態宣言、緊急事態措置発令時などに、発熱している方が来庁された場合、該当者をサーマルカメラで特定し、南玄関入り口横の市民ギャラリーへ誘導する。ここで行う2次検温でも発熱が確認できれば、要件を聞き取り、緊急を要しない場合、体調が回復してからの再来庁や郵送での対応をお願いします。



本館玄関に設置するサーマルカメラ

### 文教環境分科会

議案第67号 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算（第4号）

#### 斎苑の玄関に据置型のサーマルカメラを設置

#### ○管理運営費／業務費 72万円

**（概要）** 新型コロナウイルス感染症対策として、斎苑の来苑者の検温に役立て、発熱者の自主的な入館の自粛につなげるため、据置型のサーマルカメラを購入するための経費を計上するもの。

**質疑** 来苑者に対し、サーマルカメラによる検温のお願いや、検温の結果、発熱していることが判明した場合の対応について、どのように案内するのか。

**答弁** 来苑者に対しては、斎苑の玄関に設置するサーマルカメラの付近に、検温をお願いする旨と、検温の結果、体温が37.5度以上あった方については入館の自粛をお願いする旨の看板を設置し、案内する。



斎苑玄関に設置するサーマルカメラ



## 地域福祉分科会

議案第67号 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算（第4号）

### 生活が不安定になった本市在住の外国人留学生を応援

#### ○多文化共生推進費／生活支援分 295万円

**（概要）** 本市在住の外国人留学生を対象に、本市特産品などの支援物資の提供や、翻訳業務などを依頼することで、経済的支援を行うための経費を計上するもの。

**質疑** 対象となる外国人留学生の人数をどのくらい見込んでいるのか。

**答弁** 鈴鹿大学60名、鈴鹿医療科学大学4名、鈴鹿工業高等専門学校5名、四日市大学3名、三重大学若干名を見込み、その他市外・県外の大学などに通学している方を考慮して、予算を100名で計上している。

※人数は、本分科会開催時点における見込みの人数です。



本市特産品などの支援物資

## 産業建設分科会

議案第67号 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算（第4号）

### 建設業界への雇用確保および市民の居住環境向上

#### ○経済対策住宅リフォーム等促進事業費 1億11万4,000円

**（概要）** 地域経済の活性化、建設業界の雇用確保および市民の居住環境向上を図ることを目的として、居住する住宅のリフォームなどを行う市民に対し、住宅リフォームなどの工事に係る費用に対する補助金を交付するための経費を計上するもの。

**質疑** 補助金額について、工事に係る費用の10パーセントとした根拠は何か。

**答弁** 平成25年度の鈴鹿市地域経済対策住宅リフォーム等促進事業が好評であったことから、それと同様の10パーセントに設定した。ただし、当時は10万円としていた上限額を今回は20万円とし、より大規模なリフォームを可能とした。

## 討論一覧（7月臨時議会）

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。採決で賛否が分かれた場合のみ内容を掲載し、全会一致の場合は一覧を掲載します。（討論順）

氏名	賛成・反対の別	議案番号
中西 大輔議員 （無所属）	賛成	議案第67号、議案第68号
石田 秀三議員 （日本共産党）	賛成	議案第67号、議案第68号

## 議決一覧（7月臨時議会）

7月臨時議会に上程された議案は、全て全会一致で可決しました。

議案第67号	令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算（第4号）
議案第68号	財産の取得について



# 9月定例議会の概要

## 9月定例議会を8月26日から9月25日までの31日間の期間で開催し 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)など29議案を可決

9月定例議会初日の8月26日には、まず、市長から「令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)」など17件の議案が提出され、提案説明が行われました。

9月3日には、提出議案に対する質疑を行い、3日、4日、7日、8日、9日の5日間では、21名の議員が一般質問を行いました。

9日には、議案17件を委員会に付託しました。また、市長から「令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算(第6号)」など2件の議案が追加提出され、提案説明の後、質疑を行い、委員会に付託しました。その後、「令和3年度自動車関係諸税の簡素化、負担軽減を求める請願書」など5件の請願を委員会に付託しました。

9日、11日、14日、18日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の25日には、まず、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会委員長から中間調査報告がありました。次に、付託議案について各委員長から審査結果の報告がありました。その後、3名の議員が討論を行い、採決の結果、議案19件はいずれも可決または認定しました。続いて、請願について各委員長から審査結果の報告があり、その後、1名の議員が討論を行い、採決の結果、請願5件はいずれも採択しました。また、委員会発議案3件の意見書案が提出され、提案説明の後、採決の結果、委員会発議案3件はいずれも可決しました。さらに、議員発議案2件の意見書案が提出され、提案説明の後、採決の結果、議員発議案2件はいずれも可決しました。

また、市長から「鈴鹿市教育委員会委員の任命同意について」など5件の議案が追加提出され、提案説明の後、採決の結果、議案5件はいずれも同意することに決定しました。

その後、11月24日までを休会とすることを決定し、散会しました。



## 各委員会での主な議案審査状況

### 総務委員会

#### 議案第74号 財産の取得について

#### 亀山市と共同で35メートル級はしご付消防自動車を整備・運用

**(概要)** 亀山市と共同で整備し、運用する35メートル級はしご付消防自動車(先端屈折式はしご車)を契約金額2億5,223万円で取得しようとするもの。

**質疑** ドライブレコーダーとバックモニターは装備されているのか。

**答弁** どちらも積載されており、バックモニターについては、360度のビューモニターを積載する。

**質疑** 契約金額に無線機、リサイクル料、重量税および保険料は含まれているのか。

**答弁** 自賠責保険料と重量税については別途負担する。その他の費用は契約金額に含まれている。



35m級はしご付消防自動車

## 地域福祉委員会

議案第87号 鈴鹿市臨時外来検査センター条例の制定について

### 冬季に向けてPCR検査体制のさらなる強化

**(概要)** 三重県からの委託を受けて鈴鹿市医師会が運営している「鈴鹿市PCR検査センター」を本市が実施主体となり、「鈴鹿市臨時外来検査センター」として設置するため、条例を制定しようとするもの。

**質疑** 鈴鹿市臨時外来検査センターの今後の位置付け、具体的な体制や人員配置はどのようにするのか。

**答弁** 独立した診療所として設置し、市が主体的に運営を行っていく。11月1日から1日最大40人までの検査が可能となるよう、増大する事務への対応として、庁内での新たな人員配置の検討や、医療事務のできる職員を雇用するなどにより体制の強化をしていく。

## 予算決算委員会

予算・決算の審査は、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

## 総務分科会

議案第69号 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算（第5号）

### 救急出動で必要となる新型コロナウイルス感染防止資器材を購入

○救急活動費 備品購入費 99万円／事務費 1,399万8,000円

**(概要)** 新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波を警戒し、救急出動で必要となる感染防止衣、N95マスクなどの感染防止資器材を確保し、また、再利用できるリユースタイプの感染防止衣を効果的に滅菌できる滅菌ロッカーを購入するための費用を計上するもの。

**質疑** 感染防止資器材は、どのようなものをどれくらい購入するのか。また、滅菌ロッカーはどのように運用し、どれくらい滅菌できるのか。

**答弁** 感染防止衣4,500着、感染防止衣（リユースタイプ）205着、N95マスク4,500枚、感染防止用ゴーグル100個を購入する。使い捨ての感染防止衣とN95マスクは、救急出動1,500回分になる。滅菌ロッカーについては6台を購入し、1台で3～4着の感染防止衣を同時に滅菌でき、紫外線により約99%滅菌できる。



感染防止衣(左がリユースタイプ)

## 文教環境分科会

議案第69号 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算（第5号）

### 成人式を鈴鹿サーキットグランドスタンドで開催

#### ○成人式費 487万2,000円

**（概要）** 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、鈴鹿サーキットグランドスタンドを会場として成人式を開催するための経費を増額して計上するもの。

**質疑** 参加する新成人、来賓などの受け付けや、新型コロナウイルス感染症対策をどのように行うのか。また、入り口などでの消毒などに要する費用も含んでいるのか。

**答弁** 新成人には、あらかじめ郵送で入場券を送付し、それを持参していただくことで参加者を把握する。来賓などにも案内状を送付することで、参加者を把握する。また、鈴鹿サーキットの協力も得て、入り口で検温、消毒などを実施する。消毒なども含めて、この議案により補正した後の金額で実施する。



昨年の鈴鹿市成人式

### オンライン 鈴鹿シティマラソンONLINE 2020 を実施

#### ○シティマラソン開催費（665万円）※代替企画を現計予算で実施

**（概要）** 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、鈴鹿サーキットでの鈴鹿シティマラソンの開催に代わり鈴鹿シティマラソンオンライン2020を実施するにあたり、当初、鈴鹿シティマラソン開催費として計上していた全額を鈴鹿シティマラソンオンライン2020の実施に充てるため、財源更正をしようとするもの。

**質疑** 鈴鹿シティマラソンオンライン2020はどのように実施するのか。

**答弁** 大会にエントリーし、スマートフォンに無料の計測アプリケーションをインストールして、12月7日から20日までの2週間以内に自身で設定した距離を完走する。時間や走行距離などはGPS機能で計測するため、報告などは不要で、参加者は、いつでも、どこでも自分の好きなタイミングで走ることができる。また、参加者に参加賞を贈るとともに、完走した方の中から抽選で本市の物産品を贈呈し、シティセールスにつなげていく。



昨年の鈴鹿シティマラソン



## 地域福祉分科会

議案第86号 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算（第6号）

### 「鈴鹿市臨時外来検査センター」の管理運営費

#### ○管理運営費 5,638万円

（概要） 「鈴鹿市臨時外来検査センター」を設置し、本市が実施主体となって運営を行うことにより、PCR検査体制を強化し、新型コロナウイルス感染症のさらなる感染拡大に備えるための経費を計上するもの。

質疑 PCR検査体制を具体的にどのように強化するのか。

答弁 冬場のインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症の同時流行に備えて、1日最大40人の検査が実施できるよう、医師会の協力も得ながら、職員の人員配置などにより体制の強化をしていく。

## 産業建設分科会

議案第69号 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算（第5号）

### 飛沫感染を防止するため伝統産業会館のトイレを改修

#### ○伝統産業会館／維持修繕費 1,400万円

（概要） 湿式・和式トイレの利用による新型コロナウイルス感染症の飛沫感染を防止するため、伝統産業会館のトイレ（男女・多目的）を乾式・洋式化へ改修するための費用を計上するもの。

質疑 改修工事はいつ実施する予定か。また、自動手洗い器の設置予定は。

答弁 秋から年度末にかけて工事を行う予定で、伝統産業会館の職員と話し合いを行い、自動手洗い器については、設置を予定している。



伝統産業会館

議案第70号 令和2年度鈴鹿市水道事業会計補正予算（第1号）

### 水道料金等支払いのキャッシュレス化に係る事業費

#### ○キャッシュレス化に伴う水道料金等システム改修費 1,212万2,000円

（概要） 新型コロナウイルス感染症の予防のため、窓口での現金などの直接的な受け渡しを回避し、市民の利便性の向上を図るため、スマートフォンでの決済などの導入を行うためのシステム改修に要する経費を計上するもの。

質疑 スマートフォンでの決済の手数料はいくらか。

答弁 水道料金の支払いは、現在、コンビニエンスストアでの支払いも可能で、手数料は59円。クレジットカードの場合は130円ほど。スマートフォンでは59円ほどを予定している。

# 討 論 (要旨)

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。採決で賛否が分かれた場合のみ内容を掲載し、全会一致の場合は一覧を掲載します。(討論順)

## <議案第69号～議案第87号について>

### 石田 秀三議員 (日本共産党)

議案第78号、第79号に反対、その他議案は賛成

一般会計決算では、消費税10%への引き上げに伴う各種施設使用料の値上げ、マイナンバーカード普及の押しつけに反対。国民健康保険事業特別会計決算では、13億円もの基金残高を国保料引き下げに回すことを求めて反対。



### 藤浪 清司議員 (公明党)

全議案に賛成

決算では、おおむね適正かつ計画的に事業が執行されている。情報発信のあり方については、根本から見直す必要がある。今後、歳入が大きく減ることが懸念される中、デジタル化など行政の効率化に取り組んでいただきたい。



### 中西 大輔議員 (無所属)

全議案に賛成

決算を受け行政評価を生かし、事業の仕分けに取り組むことを期待。着実に維持・修繕を行うための基金を設立すべき。国民健康保険支払準備基金残高を単年度で判断せず、次世代負担の見通しなど長期的視点が必要。



## <請願について>

氏名	賛成・反対の別	
中西 大輔議員 (無所属)	賛 成	
	請願番号	
	請願第1号～請願第5号	

## 議 決 一 覧 (9月定例議会)

【賛成：○ 反対：×】

議 案	会派名 ( )は所属議員数	鈴鹿市議団	自由民主党	市民クラブ	新緑風会	鈴鹿太志会	公明党	日本共産党	鈴和	無所属	議決結果
		(8)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(2)	(1)		
議案第69号	令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第70号	令和2年度鈴鹿市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第71号	鈴鹿市職員給与条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第72号	鈴鹿市民会館条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第73号	鈴鹿市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第74号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第75号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第76号	市道の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第77号	市道の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第78号	令和元年度鈴鹿市一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
議案第79号	令和元年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	〃

(次ページに続く)

(前ページから続く)

議案	会派名 ( )は所属議員数	鈴鹿市議団	自由民主党	市民クラブ	新緑風会	鈴鹿太志会	公明党	日本共産党	鈴和	無所属	議決結果
		(8)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(2)	(1)		
議案第80号	令和元年度鈴鹿市土地取得事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第81号	令和元年度鈴鹿市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第82号	令和元年度鈴鹿市介護保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第83号	令和元年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第84号	令和元年度鈴鹿市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 認定
議案第85号	令和元年度鈴鹿市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第86号	令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第87号	鈴鹿市臨時外来検査センター条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第88号	鈴鹿市教育委員会委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第89号 ～議案第92号	人権擁護委員候補者の推薦同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

委員会発議案 第1号	令和3年度自動車関係諸税の簡素化、負担軽減を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
委員会発議案 第2号	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
委員会発議案 第3号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

議員発議案 第1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員発議案 第2号	防災・減災、国土強靱化対策の継続及び拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

請願第1号	令和3年度自動車関係諸税の簡素化、負担軽減を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第2号	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
請願第3号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
請願第4号	大規模建設工事の市内企業特定JV施工による地域産業の活性化と持続可能な地域社会の実現を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
請願第5号	途切れない包括的な支援体制構築のための、人材確保・育成・定着化に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

議長は原則として採決に加わりません。

可決した5件の意見書は、国会および国の関係省庁に提出しました。



## 会派等構成員一覧

自由民主党 鈴鹿市議団	野間 芳実 田中 淳一	矢野 仁志 桐生 常朗	森 喜代造	宮木 健	森 雅之	太田 龍三
市民クラブ	市川 哲夫	中村 浩	大西 克美	藪田 啓介	永戸 孝之	池田 憲彦
新緑風会	山中 智博	山口 善之	宮本 正一	河尻 浩一	前川 申龍	
鈴鹿太志会	明石 孝利	水谷 進	平野 泰治	市川 昇		
公明党	池上 茂樹	藤浪 清司	船間 涼子			
日本共産党	石田 秀三	高橋 さつき				
鈴 和	田中 通	南条 雄士				
無所属	中西 大輔					
無所属	大杉 吉包 (議長)					

採決時の会派等構成員一覧です。

### 一般質問 (要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

#### 新緑風会 河尻 浩一 議員

##### 教育委員会の取り組みについて

**(質問)** 教職員の働き方について、現場の現状を踏まえて支援を行っているか、劣悪な環境で職務を行うことで、子どもたちへの指導・支援に影響が出るのではないか。

**(答弁)** 教職員の労働時間や環境が非常に大変な状況であるのは認識しており、教育委員会としても国や県への要望をしている。今年度からは、教育ICT環境の活用により教職員の事務や学習準備などの効率化がさらに進むと考えている。今後も、子どもたちへの支援の充実のために、教職員の働き方改善に取り組む。

その他の質問 ○福祉と教育の連携



#### 鈴鹿太志会 水谷 進 議員

##### 神戸町地内の浸水対策について

**(質問)** 六郷川の特定箇所での浸水や神戸南部都市下水路の排水能力不足による本多町周辺での内水氾濫について調査と対策を。

**(答弁)** 六郷川の改修は金沢川合流地点から村瀬病院付近までを計画として今年度、調査・測量に着手。整備の完成により水位の低下が期待でき、神戸地区内の浸水被害の改善が図られると考える。しかし、さらに上流の矢田部橋まで範囲を拡大し今年度に現況調査・測量を進めたい。同時に神戸南部下水路も長い年月が経過しており構造を含め能力について調査・検討する。

その他の質問 ○交通事故防止の取り組み



#### 公明党 藤浪 清司 議員

##### 予防接種・健診について

**(質問)** 新型コロナウイルス感染症と症状の見分けがつきにくいインフルエンザによって医療機関が混乱しないよう、重症化が懸念される高齢者や就学前児童のインフルエンザ予防接種無償化を検討すべきではないか。

**(答弁)** インフルエンザワクチンを接種しやすい環境を整えることは市民の生命、健康を守る上で重要であり、診察時における医療機関の混乱を解消するなど大きな効果が期待できることから、早急に事業化に向けた検討を進めていく。

その他の質問 ○行政のデジタル化・オンライン申請 ○子育て支援



#### 新緑風会 前川 申龍 議員

##### 防災について

**(質問)** 避難所におけるインフルエンザやノロウイルスなどを含む感染症対策は重要である。体調の悪い方への対応、マスクや消毒液などの備品、換気などの感染症対策をどのように行うのか。

**(答弁)** 感染症対策として、避難所の入り口において体調や発熱などの症状の聞き取り、検温を行う。また、十分な換気を行い、消毒液やハンドソープなどの衛生用品を配備する。体調の悪い方は、学校の特別教室や公民館の別の部屋へ誘導し、本市の保健師や看護師が避難所を巡回して体調の見守りなどを行い、感染防止に努める。



無所属

中西 大輔 議員

### 気候変動を踏まえた水災害対策について

**(質問)** 2月定例議会の環境部長答弁以降の気候変動への取り組み状況は。「流域治水」などの気候変動適応について、中心部局はどこか、早急に調査研究し施策に反映するべき。

**(答弁)** 広報や市民ギャラリーでの展示実施、市内中学校の生徒会向けに気候変動に関するアンケートの実施検討、8月に国が開催した鈴鹿川流域治水協議会に参加。鈴鹿市都市マスタープランの全面改定に向けた総括などの際に検討したい。環境部を主体に庁内連携体制を構築、ワーキンググループを組織し早急に取り組む。

その他の質問 ○デジタル化の推進



日本共産党

高橋 さつき 議員

### 少人数学級について

**(質問)** 社会的に身体的距離を確保する中、学校ではコロナ以前と同じ密であることは矛盾している。密を避け、学びを保障し、ストレスを抱える子どもたちに手厚く柔軟な教育ができるよう少人数学級にしていくべき。少人数学級を望む世論も高まっている中、義務標準法や少人数教育推進事業の下限規定が障害となっていることから、義務標準法改正を要望していくべきではないか。

**(答弁)** 少人数加配教員を配置できるよう県に要望し、確保に努める。少人数学級が実施されるよう国、県などへ要望を検討する。

その他の質問 ○気候危機への取り組み方



日本共産党

石田 秀三 議員

### 市民センター窓口の利用について

**(質問)** 市役所1階の戸籍住民課の窓口が、休み明けや特定の時期に大変混雑し、長時間待たされることが多くある。各地区市民センター窓口でも本庁と同様に、各種証明書の発行や手続きがあまり待たずにできることを市民にお知らせし、本庁から地区市民センターに誘導することを提案する。

**(答弁)** 地区市民センターの場所が分からない、何ができるのか分からないなど、市民への周知が不足していた。今後はポスターやパンフレット、本庁窓口での案内など改善を進める。

その他の質問 ○地域公共交通 ○「世帯」「世帯主」



市民クラブ

数田 啓介 議員

### 救急医療体制について

**(質問)** 新型インフルエンザなど感染症が拡大した場合の消防の事業継続計画や、一次・二次救急医療機関への補助金はどうなっているのか。また、現状の医療体制を維持していくために本市独自の地域医療体制を構築してはどうか。

**(答弁)** 多数の出勤停止者が発生した場合については、人員や車両の配置などを変更する事業継続計画を定めている。一次・二次救急医療機関には輪番体制の確保、救急搬送患者の受け入れ、転院患者の病床確保などを対象とした補助金がある。独自の医療構想は、広域的な視点で今後総合的に取り組んでいきたい。



市民クラブ

永戸 孝之 議員

### 制度のはざまにある生活困窮者の福祉課題と支援対策について

**(質問)** 毎日新聞の全国ケアマネ調査では、ヤングケアラー(病気や障害のある身近な家族を介護する18歳未満の子ども)はケアマネ1,303人中215人(16.5%)の担当家庭にあり、学業、就職、精神面など生活に多大な支障が生じている。部局連携、支援をどうしていくか。

**(答弁)** 市内では表面化した事例は報告されていないが、学校の欠席などの背景にこの問題が生じていないか、いじめ、虐待同様に注視するよう各校に指示する。

その他の質問 ○男女共同参画第5次基本計画に向けての本市の取り組み



市民クラブ

池田 憲彦 議員

### 道路等の維持管理とまちづくりについて

**(質問)** 道路の維持管理において、清掃美化と経費削減の面で有効なボランティア制度であるアダプトプログラム(公共施設里親制度)を、本市でも取り入れてはどうか。

**(答弁)** アダプトプログラムの名称は使用していないが、制度の趣旨に沿った「きれいなまちの草刈りサポート制度」の周知・拡充に努めていく。サポート制度の委託先として、自治会だけでなく地元企業にも協力していただけるよう働きかけを行い、官民協働による「環境市民ネットワークの構築」の一端を担うよう努力していく。



### 南部地域の河川対策について

(質問) 集中豪雨などの自然災害に備えて河川を計画的に整備することだが、整備計画が長期間に及んでいる。堀切川周辺は特に事業開発などにより河川を取り巻く環境が変化しているため、短期間で区切って整備を進めるべきと考えるが、今後、どのように事業を進めていくのか。

(答弁) 堀切川は河川幅の拡幅などの改修を行っており、そのための事業用地の取得が順調に進んでいることから、地元の意向を踏まえた上で、三重県が進める事業との調整を図りながら、今後、整備を進めていく。

その他の質問 ○道路標示



### 助成金の交付について

(質問) 一度補助金を交付すると既得権益化することを懸念するが、補助金の効果および適正化を図る取り組みはどのようなものか。また、交付団体などに余剰金がある場合、どうするのか。

(答弁) 全ての補助金などが新基準に適合するよう、現在、公益性・効果性・必要性の検証を行っている。余剰金は、補助金額の10%を超える場合、補助金を10%減額して交付する。

その他の質問 ○肢体不自由児(者)の現状 ○三重とこわか国体に向けたテロリストへの対応 ○各地からの緊急支援物資の受け入れ計画



### 公共施設マネジメントについて

(質問) これまで施設整備の全体計画がないまま、施設が建設されてきたかのように見える。神戸中学校跡地についても進捗が見えない。公共資産である土地、建物を一元化して計画、管理する部局を創設して取り組めないか。

(答弁) 本年7月に全庁横断的な「鈴鹿市公共建築物個別施設計画」を策定した。昨年12月以降の調整協議で、神戸中学校跡地については、本年度中に売却を進める方向で調整を進めている。今後公民連携を図り、土地も含めて検討できるよう組織力を高めていく。

その他の質問 ○職員の適正配置



### 地域共生社会の実現へ向けて

(質問) 地域共生社会の担い手となる地域づくり協議会が27地区で発足したが、その目的や役割が不明との声も多い。総合計画では、防災・福祉・教育などの施策を協議会との協働で推進するとの説明が不足している。各協議会に合わせた協働を進めるため、個別に協議の場を設け、司令塔となる市の組織も設置すべき。さらにコロナ禍の中で、生活課題の相談支援を行うコミュニティソーシャルワーカーを早急に配置すべき。

(答弁) 協働のパートナーとして、協議会が主体的に活動できる環境を整える。

その他の質問 ○子どもの権利



### 防災減災対策について

(質問) 県が公表した高潮浸水想定区域図には、多くの避難所や公共施設が含まれている。高潮ハザードマップの策定を急ぐべきではないか。また、想定最大規模の降雨時の河川浸水想定区域図も公表された。住民の避難行動のタイムラインと洪水ハザードマップを策定してはどうか。

(答弁) 高潮ハザードマップは県の想定区域の指定後、洪水ハザードマップは防災マップの更新時に作成、全戸配布する。各地区の災害リスクをまとめた地区防災カルテの作成とタイムライン策定は、地域と協働して取り組む。

その他の質問 ○市民に寄り添った窓口



### モータースポーツのまちづくりについて

(質問) 本市は日本で唯一「モータースポーツ都市宣言」を行っているまち。障がい者の就労も農福連携のようにモータースポーツという強みを生かし、地域共生社会の実現に向けて取り組むべきでは。

(答弁) 本市では今年度も、3密を避けた環境下で障がい者の就労マルシェ(企業面接会)を開催する予定。今後は三重労働局鈴鹿公共職業安定所や就労支援事業者とのネットワークを生かし、その中でモータースポーツ分野の企業の参加を促進するなどして障がい者の就労機会の拡大につなげていきたい。

その他の質問 ○公共施設マネジメント





### 上水道事業について

**(質問)** 平成30年度の水道料金の改定により、昨年度決算では、純利益が約8億円、そのうち水道料金の値上げに伴う収益金が約3億円となった。そこで、現在の大変な社会状況などを鑑み、市民に収益を還元するため、水道料金の定額基本料金を減免すべきと考えるが、いかがか。

**(答弁)** 平成30年度の水道料金増額改定は、大規模災害に備えた施設などの耐震化と、企業債の抑制のためである。今後も、安全安心な水道の供給と将来世代の負担軽減を図っていく。

その他の質問 ○下水道事業



### 鈴鹿市の将来を見つめて その3

**(質問)** 高潮・津波に対する新たな防災対策の取り組みについて、県からの想定最大規模の高潮浸水想定区域図の発表、南海トラフ地震での気象庁の臨時情報発表の運用開始、内閣府によるガイドラインの公表により、以前とは異なる避難方法などが想定される。高潮時の避難対策、津波時の事前避難対策ならびに浸水対策をどうするのか。

**(答弁)** 避難勧告などの発令や避難所の開設について、広報すずかによる周知のほか、地域や学校、事業所などによる防災研修会を通じて避難対策を周知していく。また、既存の浸水対策施設の定期的な維持に努める。



### 超高齢社会での高齢者住居について

**(質問)** 超高齢社会の現在、高齢者一人世帯、高齢者夫婦だけの世帯が毎年増加し、高齢者世帯の住居問題が大きな課題となっている。鈴鹿市高齢者福祉計画においても、高齢者福祉の推進の柱として住まいの確保を掲げているが、高齢者向け居住系サービスの整備として、それらの施設を市街化区域のみに誘導するというのは「住み慣れた地域の中で高齢者が自分らしく生きる」という高齢者福祉計画の理念に反するのではないか。

**(答弁)** 今後、各医療機関・介護事業所との相互連携が重要と考える。

その他の質問 ○緊急事態下での文化行政



### 大木中学校の校舎建て替えについて

**(質問)** 大木中学校は津波浸水区域に立地することから、防災面を中心に、福祉施設の併設、学校の複合化などを含めた建て替えの必要性についてこれまで一般質問を行ってきたが、現在の状況は。

**(答弁)** 大木中学校施設整備事業については、来年度からの校舎建設に向けて、本年度は実施設計を行っている。設計に当たっては、大木中学校の想定浸水状況が、南海トラフ地震による津波での水面の高さが標高3.5メートル、鈴鹿川の氾濫では3.3メートルと推定されることから、新校舎の1階の床の高さは標高3.6メートルで設計する。



### より質の高い行政サービスを目指して

**(質問)** 地域の窓口である公民館などのメンテナンス計画は。除草作業後に残される灌木が目立ち、安全が阻害されている。市WebサーバーにHTTPSが導入されていない。より質の高い行政サービスを目指すため何を把握し何を行うのか。

**(答弁)** メンテナンス計画は策定していないが、市の責任において、地域との協議に柔軟に対応し、公民館などのメンテナンスに取り組む。除草は関係各課と連携して満足度向上につなげる。HTTPSの導入は今年度中に対応する。

その他の質問 ○地籍調査のプロセス  
○SNS広報の活用



今回の議会だよりから、一般質問と討論の記事にQRコードを追加しました。各QRコードをスマートフォンで読み取っていただくと、動画をご覧いただけます。



# 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 中間調査報告

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会では、7月から8月にかけて、4分野8項目の調査事項について、分野ごとに執行部から本市の取り組みなどについての説明を受け、調査を進めました。また、8月に入って以降、急激に感染者数が増加したことから、8月14日に、徹底した検査体制などを求める意見を市長に提出しました。9月に開催した2回の委員会では中間調査報告書をまとめ、9月25日の本会議では、委員長から議長に対して報告を行いました。【写真】



中間調査報告書は、議会ホームページ「トピックス」に全文を掲載しています。ぜひご覧ください。



## 議会から市長への提言

中間調査報告書を基に、市長に対して今後の政策決定の参考にしていただくため、9月25日の本会議終了後に次の内容を提言しました。

### ① 健康福祉分野

#### (1) 医療体制の強化・充実について

本市におけるPCR検査の拡充を検討し、希望する市民が早急に検査を受けられる体制づくりに努めること。また、保育所、幼稚園、学校、医療・介護などの現場で働くエッセンシャルワーカーがPCR検査を受ける場合の検査費用の一部を補助するなどの仕組みづくりに努めること。

#### (2) 生活者支援の対策について

今後も増加が続くと考えられる生活相談全般への対応として、社会福祉協議会が窓口となっている緊急小口資金等の申請について、市と同じ窓口での受け付けを可能とするなどのワンストップ化を図る体制の強化が必要である。

### ③ 教育・子ども政策分野

#### (1) 教育・子ども関係の感染防止対策について

小中学校、放課後児童クラブ、保育所、幼稚園においては、秋から冬に向け、家庭内での感染が増えると考えられるため、統一した方向性に基づき、各施設においては一貫した取り組みを示してほしい。また、学校の臨時休業をきっかけとして深まった放課後児童クラブと学校の連携は、今後継続していくべきである。

#### (2) 授業の遅れを取り戻すためのICT教育について

学校間で格差が出ないようにする取り組みと、再び自宅待機になる可能性に備えて自宅にインターネット環境がない子供たちへの対応が必要である。

### ② 危機管理分野

#### (1) 複合災害への対策について

避難所で使用する感染者対策グリーンボックスなどの備品については、その都度運搬するのではなく、平常時から各避難所に備蓄しておくことが必要である。

#### (2) 市民への正確な情報発信について

行政側の判断による情報発信にとどまらず、市民の目線に寄り添い、安心につながる情報発信が必要である。

### ④ 産業政策分野

#### (1) 自粛や休業などによる市内経済活動への影響について

感染症が収束するまで、ただ自粛するだけでなく、小規模事業者、個人事業主などを対象とした経済活動の支援が求められる。また、求職者についての実態把握が必要である。

#### (2) 市独自の産業支援策の検証について

新型コロナウイルス感染症による影響は長期に及ぶと考えられるため、市独自の産業支援策が一時的なものにならないよう、今後の継続及び発展が必要である。

# 議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か



本会議や委員会などを傍聴するときは、市役所14階の議会事務局で傍聴券を受け取ってから入室してください。傍聴の受け付けは、会議開会の30分前からです。

なお、会議開催予定は、市議会のホームページや市役所の掲示板などでお知らせします。



本会議場：定員53名      委員会室：定員10名

## 音声が聞き取りにくい方に



議場傍聴席にて聞き取りにくい方には、ヘッドフォンを貸し出していますので事務局へお申し付けください。

また、手話通訳と要約筆記をご希望の方は、事前にお申し付けください。



## 議会に来られなくても…

### CNS（ケーブルテレビ）で生放送

本会議をデジタル112chで生放送しています。放送時間は午前10時（開会時間）から会議の終了までです。

### 議会のホームページで録画映像配信

市議会のホームページで、テレビ中継した映像をおおむね2週間後に録画配信しています。

スマートフォン・タブレットなどのモバイル端末でも視聴できます。

## もっと詳しく知るには…

### 会議録があります！

会議の詳しい内容については、市役所本館14階の議会図書室と4階の行政資料コーナーで閲覧できます。

なお、本会議の会議録は、市立図書館や各地区市民センターなどでも閲覧できます。

また、鈴鹿市議会ホームページで会議録を公開しています。

※9月定例議会の会議録は、11月下旬に配置予定です。

## 詳しくは議会事務局にお問い合わせください

### 皆様のご意見をお聞かせください

市議会や市議会だよりに対する皆様のご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。今後の参考にさせていただきます。

あて先は

#### 鈴鹿市議会事務局

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号  
TEL:059-382-7600 FAX:059-382-4876  
mail:giji@city.suzuka.lg.jp

### 新型コロナウイルス感染症対策のためご協力ください

- ・議場および委員会室の傍聴入り口などに設置してある消毒液をご利用ください。
- ・咳や発熱などで体調のすぐれない方は傍聴をお控えください。



## 11・12月の会議日程

※日程は変更される場合があります。

月	日	曜日	時間	会議内容
11月	25日	水	10:00	本会議(提案説明)
	26日	木	14:00	議会運営委員会
12月	3日	木	10:00	本会議(質疑、一般質問)
	4日	金	10:00	本会議(一般質問)
	7日	月	10:00	本会議(一般質問)
	8日	火	10:00	本会議(一般質問)
				議会運営委員会(本会議終了後)
				各派代表者会議(議会運営委員会終了後)
	9日	水	10:00	本会議(一般質問、追加議案等、委員会付託)
予算決算委員会(本会議終了後)				
12月	11日	金	10:00	文教環境委員会(分科会)
				産業建設委員会(分科会)
	14日	月	10:00	総務委員会(分科会)
				地域福祉委員会(分科会)
	17日	木	10:00	予算決算委員会
				各派代表者会議(予算決算委員会終了後) 広報広聴会議(各派代表者会議終了後)
	21日	月	10:00	議会運営委員会
22日	火	10:00	本会議(委員長報告、討論、採決)	
			全員協議会(本会議終了後) 議会だより編集会議(全員協議会終了後)	